

第 8 章

まちづくりの実現方策

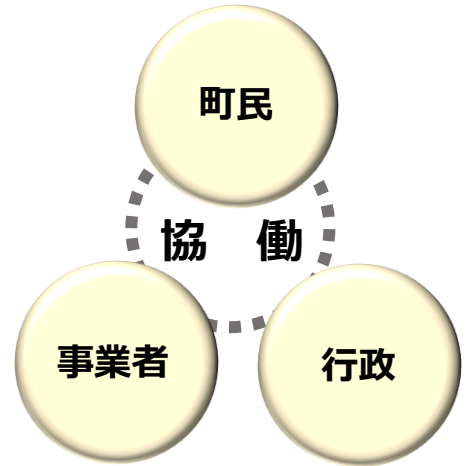
1. 協働によるまちづくりの推進
2. 都市計画マスタープランの見直し・進行管理
3. まちづくりの計画的な事業推進



1. 協働によるまちづくりの推進

本計画に定めた、町の将来像や各整備方針を具現化していくためには、行政だけではなく、町民や事業者が連携した協働によるまちづくりが必要です。

本町では、「広報ふそう」や「まちづくり懇談会」等の開催を通して、都市計画やまちづくりに対する町民の関心を高めるとともに、各種事業や計画の策定時に町民や事業者の参画機会を設け、官民連携によるまちづくりに取り組みます。



【町民・事業者・行政の役割】

町民	まちづくりの担い手として、町民一人ひとりの意識変化を図り、まちづくりへの参画を促進します。
事業者	各企業の特徴を活かし、まちづくりへの積極的な参画を促進します。操業環境の維持・向上や周辺との調和、地元への貢献を促進します。
行政	将来像の実現に向け、都市基盤整備の計画的な事業推進を図ります。また、まちづくりに関する情報発信等に努め、町民や事業者と連携したまちづくり体制を構築します。

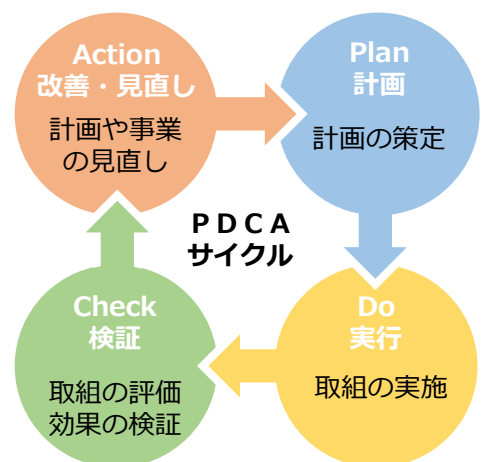
2. 都市計画マスタープランの見直し・進行管理

(1) 都市計画マスタープランの見直し

本計画は、愛知県の「尾張都市計画区域マスタープラン」や「第5次扶桑町総合計画後期基本計画」の改定時、社会経済情勢の変化等を踏まえ、適宜、見直しを行います。

(2) 計画の進行管理（PDCA サイクル）

本計画の着実な推進を図るため、PDCA サイクルにより計画に基づく各種施策の実行とその結果である地域への波及状況を点検・評価します。そのうえで、必要に応じて見直しを行い、計画の推進を図ります。





3. まちづくりの計画的な事業推進

本計画の全体構想に示された都市づくりの目標ごとに、「第5次扶桑町総合計画後期基本計画」の位置付けを加味した上で、特に重点的・計画的に推進すべき施策について整理します。

【特に重点的・計画的に推進すべき施策】

短期：概ね5～10年 中長期：10～20年

都市づくりの目標	整備目標		具体的な事業
	短期	中長期	
誰もが住みやすい生活利便性の高いまちづくり	○		(都) 愛岐大橋線、(都) 一宮犬山線、(都) 斎藤羽黒線沿道への商業・サービス機能、公共公益機能の立地確保
	○		扶桑駅と柏森駅徒歩圏への商業・サービス機能、公共公益機能の立地確保
交通網強化によるアクセス性の高いまちづくり	○	○	(都) 国道41号線の6車線化の整備促進
	○	○	(都) 小淵江南線、県道斎藤羽黒線、(都) 斎藤羽黒線の整備促進
	○		中心部と郊外や主要施設を結ぶネットワーク構築を目指し、新しい公共交通導入の検討
産業集積による活力のあるまちづくり	○	○	(都) 国道41号線沿道における、広域的な都市間の交通ネットワークを活かした就労環境の確保、及びそれによる都市活力の向上のための、工業による土地利用の推進
自然と暮らしが調和した豊かな景観と潤いのあるまちづくり	○	○	木曾川扶桑緑地公園、柏森東山緑地、尾張広域緑道の緑化の推進・保全
	○	○	緑化推進補助制度の活用による、生垣、屋上緑化、壁面緑化の推進
誰もが安心して暮らし続けられる安心安全なまちづくり	○		(仮称) 新愛岐大橋の整備に伴う、(都) 小淵江南線周辺の交通安全対策
	○	○	青木川の河川整備・改修